

令和8年（2026年）度事業評価シート

令和 8 年 6 月 30 日

評価対象事業	都整 - 28	緑化啓発事業	☐ 法定受託事務
所管課	都市整備部 みどり公園課		評価者 みどり公園課長 池田 正
一般	会計	款 45 項 20 目 5	
総合計画上の位置付け	分野名	みどり	施策の方針名 緑の保全等

1 事業の目的

対象	市民等	意図	緑の基本計画の周知を図り、市民と連携して緑の環境づくりを推進するため。
効果	緑地等の保全、管理活動を市民と連携して推進し、市域全体を緑豊かにすることにより、これまで確保してきた緑地や都市公園等の機能を高める。		

2 事業工程と運営資源配分

☐ 単年度事業 ☐ 終期のある事業 (事業終了予定年度: 年度) ☒ 単年度繰返

	令和7年度	令和8年度	令和9年度（未定）
事業工程	緑化啓発に関する業務委託、「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業、鎌倉市緑化まつり事業、まち並みのみどりの奨励事業	緑化啓発に関する業務委託、「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業、鎌倉市緑化まつり事業、まち並みのみどりの奨励事業	緑化啓発に関する業務委託、「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業、鎌倉市緑化まつり事業、まち並みのみどりの奨励事業
予算額（千円）	7,919	8,339	
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	7,919	8,339	0
当初人員配置数	1.4	2.0	0.0
人件費（千円）	8,374	10,312	0
事業実績	緑化啓発に関する業務委託、「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業、鎌倉市緑化まつり事業、まち並みのみどりの奨励事業	緑化啓発に関する業務委託、「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業、鎌倉市緑化まつり事業、まち並みのみどりの奨励事業	緑化啓発に関する業務委託、「みんなで考えようかまぐらの緑」ポスターコンクール事業、鎌倉市緑化まつり事業、まち並みのみどりの奨励事業
決算額（千円）	6,891		
国県支出金			
地方債			
その他			
一般財源	6,891	0	0
人員配置実績数	1.4	0.0	0.0
人件費（千円）	8,145	0	0

3 活動結果（アウトプット）指標

No	活動結果（アウトプット）指標		単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9
	指標名	ポスターコンクール応募数	件	118	7	103		
活1	実績につながる活動	チラシ、広報かまくら、SNSを通じた募集活動				-		
活2	指標名	緑の学校、緑のレンジャーの受講者数	人	64	7	71		
	実績につながる活動	チラシ、広報かまくら、SNS、地下道ギャラリーを通じた募集活動				-		

活動結果指標の実績に影響を与えた外部要因	活動結果指標（アウトプット）の実績に影響する外部要因はなかった。
本事業実施に伴う活動結果指標の達成状況に対する評価	・まち並みのみどりの奨励事業については、チラシを新たに作成し、機会をとらえて配布したため、申請件数及び接道緑化の延長が増加した。 ・緑の学校及び緑のレンジャーの受講者数や、ポスターコンクール応募数については、周知活動を実施したが応募件数等は、ほぼ横ばいとなった。

4 成果（活動による直接アウトカム）指標

No	成果（アウトカム）指標の内容	単位	初期値	目標値 目指す方向	R7	R8	R9	関連する活動結果指標No （最大3つ）
成1	まち並みのみどりの奨励事業による接道緑化の延長	m	78.96	7	132.0			1 2

成果指標の実績に影響を与えた外部要因	全国的に環境意識が高まり情報量も増えたことにより、環境や自然に対する市民意識の高まりがあったこと。
本事業実施に伴う成果指標の達成状況に対する評価	緑地の保全や緑化の推進の必要性、各事業について、市民や緑地所有者等に向けた周知を実施した。
活動結果指標と成果指標結果の比較分析（寄与度）	緑の学校やポスターコンクールなどを通じて緑化活動を啓発することにより、まち並み緑の奨励事業を活用した市街地緑化が進むと考える。

5 評価結果

評価	妥 当 性	事業に対するニーズ	■ 増えている	□ 変わらない	□ 減少している	
		事業実施の主体となるべき者	■ 市	□ 国・県	□ 民間事業者	□ なし
	有 効 性	事業の成果	■ 十分に出ている	□ 概ね出ている	□ 出していない	
		効 率 性	事業費削減余地	□ ある	■ なし	
	関連・類似事業との統合		□ できる	■ できない		
	公 平 性	受益者負担	□ 導入済	□ 導入予定	■ 導入できない	
方向性		評価実施年度の方向性	⇒ 評価実施翌年度以降の方向性			
	事業内容の方向性	■ 事業内容は現状通り	■ ① 事業内容は現状通りとする			
		□ 事業内容は見直し済	⇒ □ ② 事業内容は見直す	→ □ 拡大	□ 縮小	□ その他
		□ 事業を休止又は廃止済	□ ③ 事業は休止又は廃止する			
		□ 他事業と統合済	□ ④ 他事業と統合し、本事業は廃止する	→	事業へ統合	
予算規模の方向性	■ 予算規模は現状維持	■ ① 予算規模は現状維持とする				
	□ 予算規模は拡大済	⇒ □ ② 予算規模は拡大する				
	□ 予算規模を縮小済	□ ③ 予算規模は縮小する				

今後の取組方針（見直し方針）	課題への対応		結果	具体的な内容	
	前年度の新たな課題への対応結果		前年度は新たな課題なし		
	活動結果指標や成果指標の達成状況に影響を与える新たな課題		新たに認識された課題はなかった		
	新たな課題に対応するための新規事業の必要性		新たに認識された課題はなかったため検討なし		
	総評	・ まち並みのみどりの奨励事業の申請に対しては、住宅の新築や改修、危険ブロック塀の撤去などの機会に利活用を呼び掛けるなど、景観面のみならず環境や防災機能の向上の点からも、市街地の緑を増やす取組を引き続き実施していく。 ・ 緑のレンジャー等の講習会については、参加者数は一定数以上いることから、例年変わらないニーズがあり、緑の維持管理の担い手を育成するための事業を拡充する。 ・ 緑化まつり及びポスターコンクールについては、より魅力的な内容をPRしながら効果的な取組となるよう工夫を加えて実施することで、緑に対する意識の高揚を図る。			
		上位施策への寄与度			
A					

○ 他市比較・ベンチマーク（県内外自治体や民間団体との比較値）

比較事項									
団体名	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市	平塚市	小田原市	横須賀市	葉山町	逗子市	三浦市
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	他市では類似する事業を実施していないため、比較することは不可能である。
----------------------	-------------------------------------